

麻布小学校の5年生と6年生のクラスで、最初のワークショップがおこなわれました。今年のテーマは世界中で盛んになってきている「Eスポーツ」です。一時間目は、コンテストの企画プレゼンテーションで一位になった早稲田大学チームの一圓涼介さんと阪井健人さんの担当です。

多目的室には大きなモニターが二つ準備され、生徒たちは床に座り、リラックスした雰囲気の中、ワークショップに参加しました。

理論と実践の2部構成からなるワークショップの中で、まず生徒たちはドイツについて学び、カードを使い簡単なドイツ語を覚えました。実践の部では、Eスポーツへの導入としてゲームをおこないました。ここでは2人の生徒がカメラの付いたロボットを操作します。カメラに写る画像はモニターに投影され、生徒はその画像だけを見て部屋の中を動くロボットを操作して指定されたドイツ語が書かれたカードを探さなくてはなりません。子どもたちはとても集中し、他の生徒たちも熱心に応援していました。

生徒が単語カードを見つけたあとは、Eスポーツについての紹介と、生徒たちが話し合い発表する時間になりました。

2時間目は、企画プレゼンテーションで2位だった山形実可さんと来田村瑞樹さんのワークショップです。まず始めに、ドイツとEスポーツについて、写真やドイツ語のビデオをつけて紹介しました。この6年生の授業は教室でおこなわれました。生徒たちはドイツやスポーツ、ビデオゲームについて積極的に質問に答えていました。

後半は机を5人ずつのグループにして座り、クイズの答えをグループで話し合い、解答用紙に書きこみました。山形さんと来田村さんは生徒たちの机を回り、ヒントを出していました。

どちらのクラスでも、生徒たちはとても楽しみ、ドイツ語やドイツ文化に興味を持っているようでした。

生徒の皆さん、積極的に参加してくれてありがとう！

ご協力いただいた先生方にも感謝いたします。

このプロジェクト「Hallo Deutschland」を通じてドイツ、ドイツ語に対する関心がさらに高まればうれしく思います。